

西中だより

平成28年度 No.27
平成29年 1月18日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

＆＆＆ いよいよ高校入試が始まりました &&&

- 先週末から3年生の私立高校I期の入試が始まりました。3年生は勿論、先生方も面接指導や入試の心得等について、これまでも繰り返し指導してこられました。あとは、体調管理を万全にして、当日は持てる力を存分に発揮してくれることを祈るだけです。
- 面接の一般的なねらいについて、話したいと思います。
 - ① 受験生の直接の言葉や態度から、様々な資質や能力をとらえる。・・・服装、身だしなみ、言葉遣いや表情、立ち居振る舞い、などから評価されます。落ち着いた受け答えに心掛けることが大切です。
 - ② 面接に対する備えとしては、謙虚で素直な態度を身に付けることです。そのために、日頃から、言葉遣いや返事・挨拶はしっかりとできるようにしておきましょう。

＃＃＃ 遅しく育った西中生！今年初めての大雪でも迅速に雪片付けをしてくれました ＃＃＃

- 13日の朝は、寒波の影響で西袋地区も約15cmの積雪でした。長靴を履いて登校する生徒が少なくなった昨今は、除雪しないと転倒してケガをする生徒が出ます。また、本校職員の駐車場は校舎北側にあるので、早く除雪しないと雪が固まり溶けにくくなります。しかし、そんな心配を吹き飛ばすように、私が学校に着いた時には、早く出勤した先生方と朝練習で早く登校した生徒達が、力を合わせて歩道や駐車場の除雪を一生懸命に行ってくれていました。
- 思わず、「ありがたいな。生徒達が遅しくなった。」「ここまで生徒を教え、導いてくれた西袋中の先生方は素晴らしいな。」と思わず胸が熱くなりました。早々、私も車から降りて、みんなと一緒に雪かきを始めました。・・・昼休後の清掃時に、清掃当番の生徒達と歩道と駐車場の雪片づけをもう一度行いました。太陽の熱で、日当たりの雪はほとんど溶け、歩道も駐車場も綺麗になりました。



《 校長のつぶやき 》・・・ 「ことば」の持つ力 ・・・

- 古い話で申し訳ありませんが、野球の日本シリーズで巨人と近鉄が対戦した時に、3連敗した巨人に対して勝ち誇った近鉄の若手投手が試合後のインタビューで「巨人なんてたいしたことないですね。パリーグの他チームの方がよほど怖いですよ。」と言ってしまった。近鉄の監督は、「言うてはならない言葉を発してしまった。」「これで眠れる獅子が目を覚まさなければよいが。」と言って、若手の勇み足も受け取れる言葉遣いを心配しました。若手投手の言葉に奮起した巨人の各選手は、一日の移動でホーム球場（後樂園）に戻ってから、見違えるようなチームになり、結果は4勝3敗で巨人が日本シリーズを制しました。
- 前回に引き続き、日常の中で遣っているちょっとした言葉によって、相手を勇気づけたり励ましたりする反面、嫌な気持ちにさせたり敵をつくってしまったりすることを肝に銘じなければなりません。それにしても、言葉の持つ力は怖いものです。前号同様、3回唱えて自分の言葉遣いについて、考えてみてください。

「ひとつの言葉」

- ・ひとつの言葉で けんかして ・ひとつの言葉で なかなかおり ・ひとつの言葉で おじぎして
- ・ひとつの言葉に なかされた ・ひとつの言葉は それぞれに ・ひとつの心を もっている